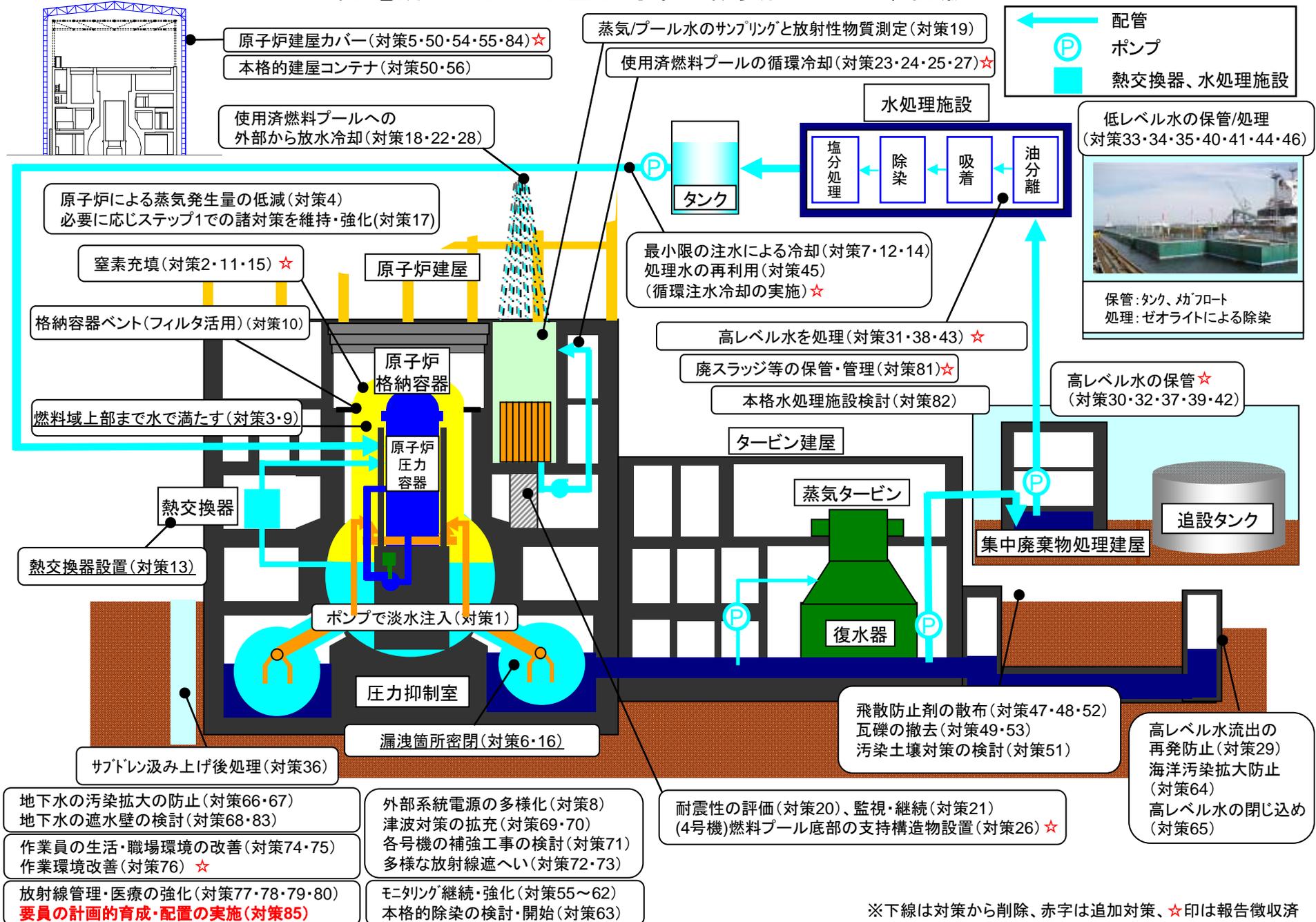


# 東京電力福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋 当面の取組のロードマップ(改訂版)

赤字: 前回からの追加点、☆印: 報告徴収済、緑網掛けは達成した目標

| 課題                   |                                       | 初回(4/17)時点                                       | ステップ1(3ヶ月程度)  | ステップ2(ステップ1終了後3~6ヶ月程度)<br>▼現時点(8/17)  | 中期的課題<br>(~3年程度)                                      |
|----------------------|---------------------------------------|--|---|---|---|
| I. 冷却                | (1) 原子炉                               | 淡水注入<br>最小限の注水による燃料冷却(注水冷却)<br>滞留水再利用の検討/準備      | 循環注水☆<br>冷却(開始)<br>窒素充填☆<br>作業環境改善☆                               | 循環注水冷却(継続)<br>窒素充填(継続)  | 冷温停止状態<br>冷温停止状態の継続<br>構造材の腐食破損防止※一部前倒し               |
|                      | (2) 燃料プール                             | 淡水注入   | 注入操作の信頼性向上/遠隔操作<br>※前倒し<br>循環冷却システム(熱交換器の設置)☆<br>※一部前倒し           | 注入操作の遠隔操作<br>熱交換機能の検討/実施  | より安定<br>的な冷却<br>燃料の取り出し作業の開始                          |
| II. 抑制               | (3) 滞留水                               | 放射性レベルの高い水の移動                                    | 保管/処理施設の設置☆   | 施設拡充☆本格的な水処理施設検討<br>除染/塩分処理(再利用)等<br>廃スラッジ等の保管/管理☆                                      | 滞留水全体量を減少<br>本格的な水処理施設の設置<br>滞留水の処理継続<br>廃スラッジ等の処理の研究 |
|                      |                                       | 放射性レベルの低い水の保管                                    | 保管施設の設置/除染処理  | 海洋汚染拡大防止  | 海洋汚染拡大防止  |
|                      | (4) 地下水                               | 地下水の汚染拡大防止<br>地下水の遮水壁の                           | 海洋汚染<br>拡大防止<br>(保管/処理施設拡充計画にあわせてサドルン管理)<br>方式検討<br>地下水の遮水壁の設計・着手 | 海洋汚染<br>拡大防止<br>地下水の汚染拡大防止<br>地下水の遮水壁の構築  |   |
|                      | (5) 大気・土壌                             | 飛散防止剤の散布   | 飛散防止剤の散布(継続)  | 飛散防止剤の散布(継続)  | 飛散抑制<br>(継続)<br>飛散防止剤の散布                              |
|                      |                                       | 瓦礫の撤去  | 原子炉建屋カバーの設置(1号機)☆<br>瓦礫撤去(3,4号機原子炉建屋上部)<br>原子炉建屋コンテナの検討           | 瓦礫の撤去(継続)<br>原子炉建屋カバーの設置(3,4号機)<br>原子炉建屋コンテナ設置作業の開始                                     | 瓦礫の撤去・管理  |
| III. 除染<br>モニタ<br>ング | (6) 測定<br>公表<br>低減                    | 発電所内外の放射線量のモニタリング拡大・充実、公表                        | 本格的な除染の検討・開始  | 除染<br>環境モニタリングの継続<br>除染の継続  |   |
| IV. 対策等<br>余震等       | (7) 津波<br>補強<br>他                     | 余震・津波対策の拡充、多様な放射線遮へい対策の準備<br>(4号機燃料プール)支持構造物の設置☆ | 各号機の補強工事の検討/実施  | 災害の<br>拡大防止<br>多様な遮へい対策の継続<br>各号機の補強工事  |   |
| V. 環境改善              | (8) 生活<br>環境<br>放射線<br>管理<br>医療<br>体制 | 作業員の生活・職場環境の改善                                   | 放射線管理・医療体制の改善   | 環境<br>改善の<br>充実<br>健康<br>管理の<br>充実<br>被ばく<br>管理の<br>徹底<br>作業員の生活・職場環境改善<br>放射線管理・医療体制改善 |   |
|                      |                                       | 要員の計画的育成・配置の実施                                   | 要員の計画的育成・配置の実施  | 要員の計画的育成・配置の実施  |   |
| 中期的課題への対応            |                                       |  | 政府による安全確保の考え方<br>上記に基づく施設運営計画の策定                                  | 施設運営計画に基づく対応  |   |

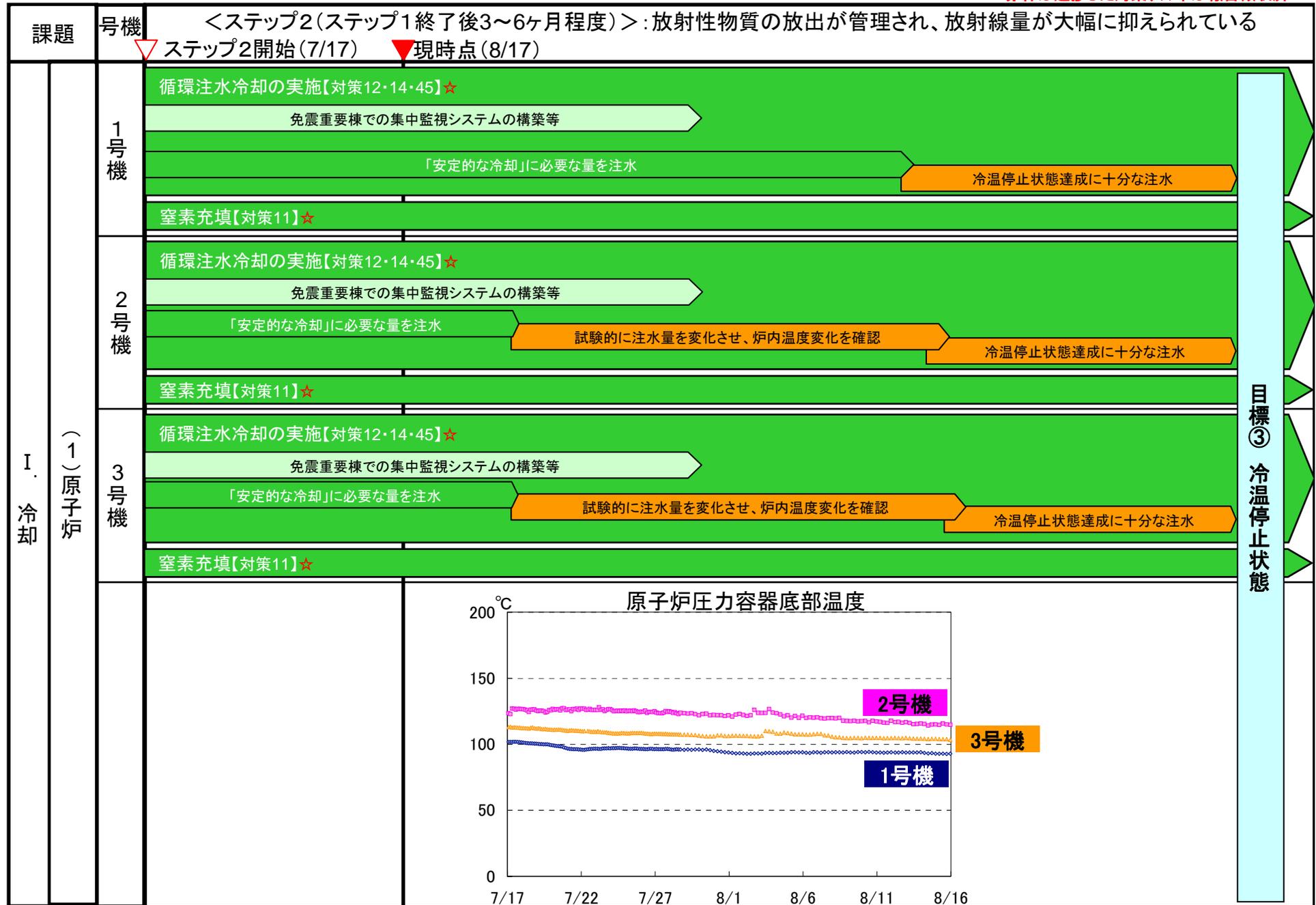
# 発電所内における主な対策の概要図 8/17改訂版



※下線は対策から削除、赤字は追加対策、☆印は報告徴収済

# 諸対策の取り組み状況(その1)

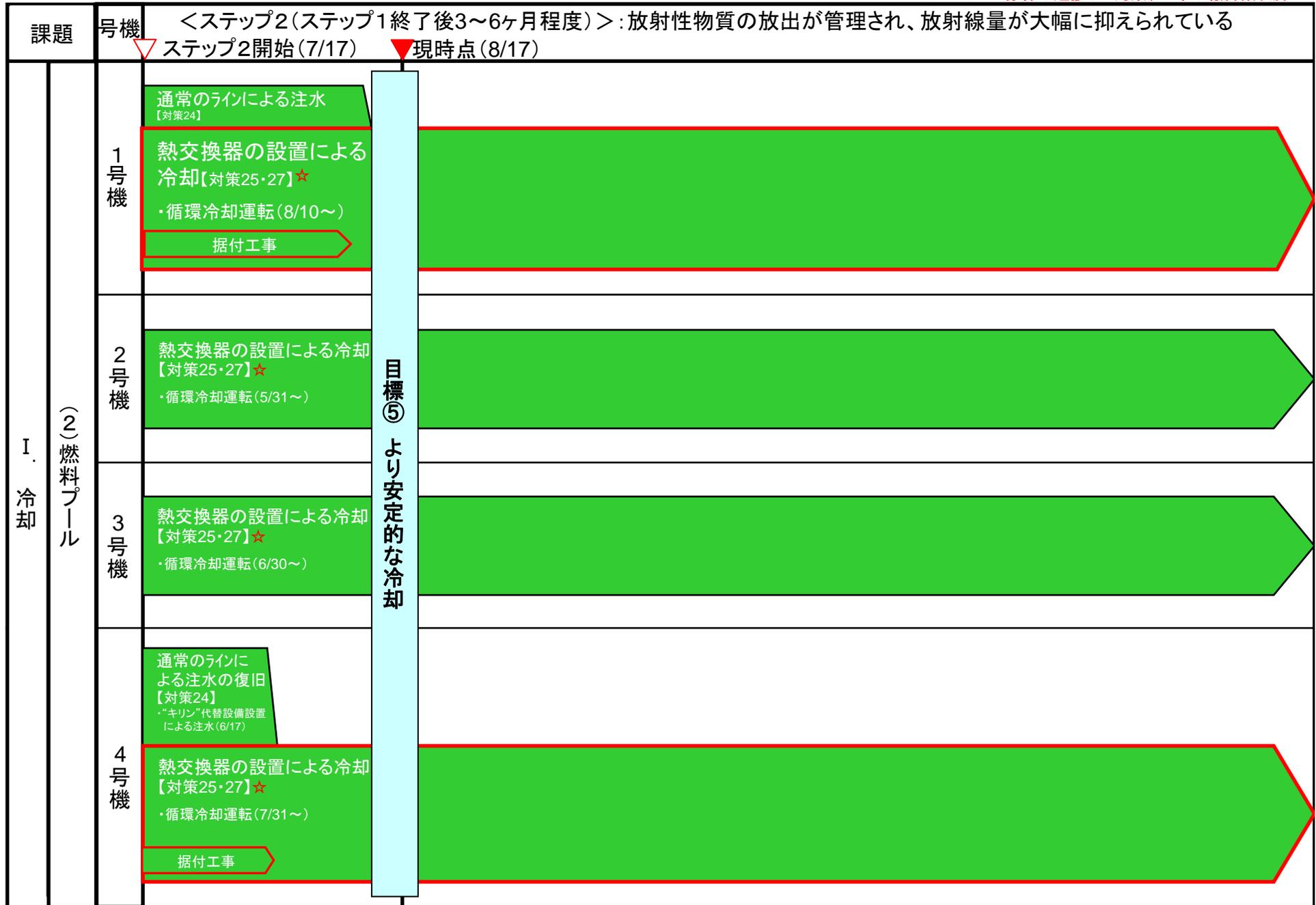
赤枠は進捗した対策、☆印は報告徴収済



凡例  
 :実施開始済(必要に応じ国が監視)    ☆:国の安全確認(報告徴収)     :現場工事中     :現場着手     :現場未着手

# 諸対策の取り組み状況(その2)

赤枠は進捗した対策、☆印は報告徴収済

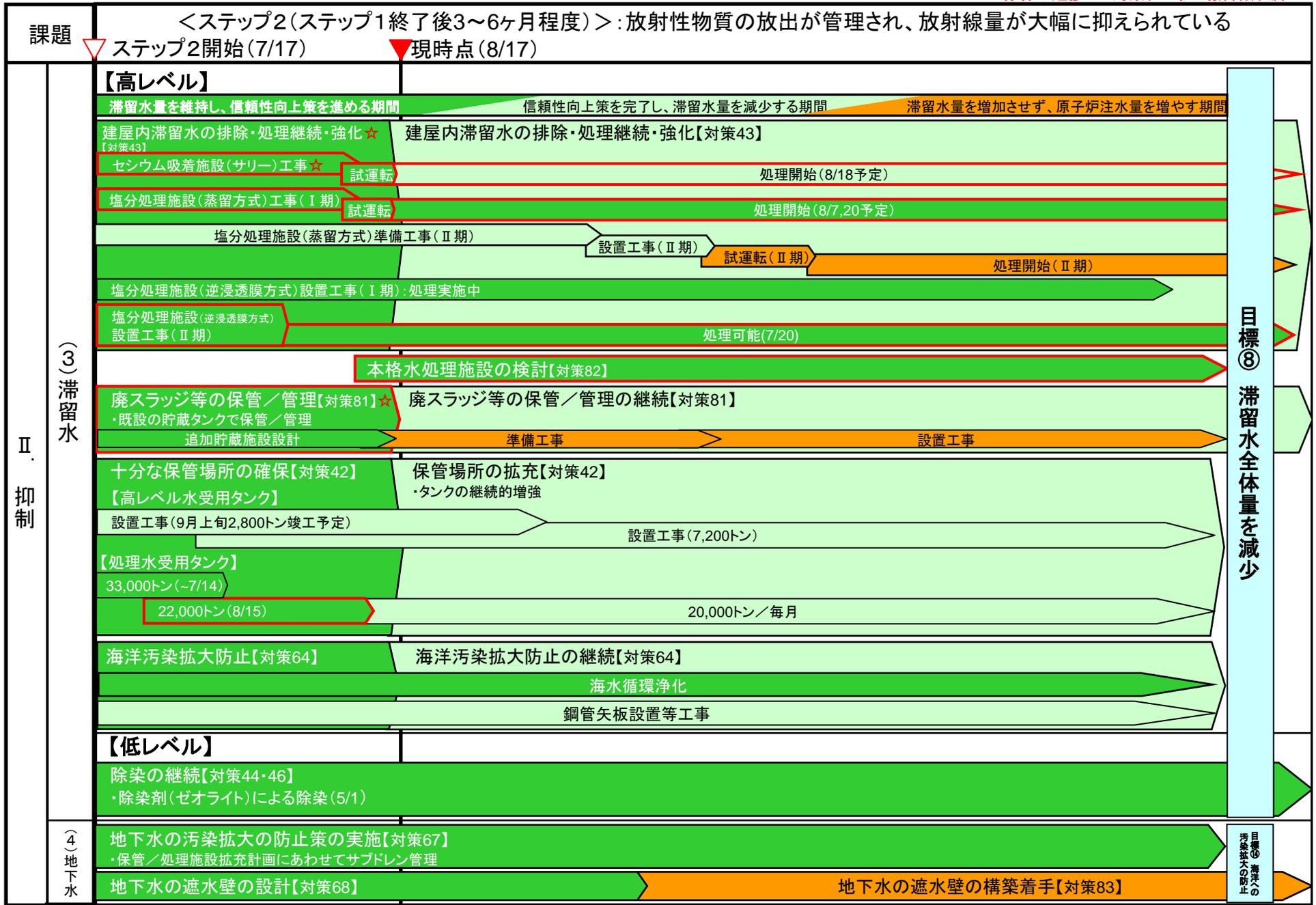


凡例 :実施開始済(必要に応じ国が監視)    ☆:国の安全確認(報告徴収)    :現場工事中    :現場着手    :現場未着手

# 諸対策の取り組み状況(その3)

赤枠は進捗した対策、☆印は報告徴収済

V



凡例  
 : 実施開始済(必要に応じ国が監視)   
 ☆ : 国の安全確認(報告徴収)   
 : 現場工事中   
 : 現場着手   
 : 現場未着手

# 諸対策の取り組み状況(その4)

赤字は追加対策、赤枠は進捗した対策、☆印は報告徴収済

| 課題             |                | <ステップ2(ステップ1終了後3~6ヶ月程度)>:放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられている<br>▼ステップ2開始(7/17)      ▼現時点(8/17)  |                |
|----------------|----------------|---|----------------|
| II. 抑制         | (5) 大気・土壌      | 飛散防止剤の固化状況の確認【対策52】   | 目標⑩ 放射性物質の飛散抑制 |
|                |                | 瓦礫の撤去【対策53】:コンテナ約700個分回収(8/17時点)  |                |
|                |                | 原子炉建屋カバーの設置(1号機)【対策54・55】☆<br>・本体工事中  |                |
|                |                | 原子炉建屋上部の瓦礫の撤去(3,4号機)【対策84】<br>・準備工事中(3号機:6/20、4号機:6/24)   |                |
|                |                | 3号機準備工事(地上瓦礫撤去、クレーン道路整備等)   | 原子炉建屋上部瓦礫撤去    |
|                |                | 4号機準備工事(地上瓦礫撤去、クレーン道路整備等)   | 原子炉建屋上部瓦礫撤去    |
|                |                | 原子炉建屋コンテナの検討【対策50】  |                |
| III. モニタリング・除染 | (6) 測定・低減・公表   | 現時点における放射性物質の放出量を継続評価【対策60・61】<br>・1~3号機からの現時点の放出量を7/19公表時と同じ手法で東京電力が評価<br>✓直近の2週間程度(7月下旬から8月上旬)の西門付近の空气中放射性物質濃度から現放出量を最大で約2億ベクレル/時と推定(事故直後に比べ約1,000万分の1)<br>✓これによる敷地境界の年間被ばく線量を最大で約0.4ミリシーベルト/年(暫定値)と評価(これまでに既に放出された放射性物質の影響を除く)<br>・放出抑制対策に伴う放出量の低減傾向を、敷地内外における放射性降下物の測定、原子炉格納容器内ガス放射能濃度測定、及び原子炉建屋上部での空气中放射性物質濃度測定により把握し、評価 | 目標⑫ 放射線量を十分に低減 |
|                |                | 国・県・市町村・事業者連携によるモニタリングの実施【対策62】   |                |
|                |                | 本格的除染の検討・開始【対策63】   |                |
| IV. 対策等        | (7) 津波・補強<br>他 | (4号機)燃料プール底部に支持構造物を設置【対策26】☆(7/30) 各号機の補強工事の検討/実施【対策71】:耐震性の評価を実施、線量低減対策後に建屋内部調査を予定   | 拡大防止 目標⑮       |
|                |                | 多様な放射線遮へい対策の継続【対策73】  |                |
| V. 環境改善        | (8) 職場環境・生活    | 作業員の生活・職場環境の改善の継続・拡充【対策75】<br>・仮設寮は約1,600人分を建設予定、約1,200人が入居済(8/15時点)。現場休憩施設は累計16箇所(約1,200人分、約3,500㎡)が開設(8/15時点)   | 環境改善 目標⑯       |
|                |                | 放射線管理の強化継続【対策78】<br>・原子力安全・保安院による放射線管理体制の強化<br>・ホールボディカウンタの増強、月1回の内部被ばく測定☆<br>・個人線量の自動記録化、被ばく線量の文書通知☆、写真入作業員証の導入☆<br>・作業員に対する安全教育・研修の充実、データベースの構築など長期的な健康管理に向けた検討   | 健康管理の充実 目標⑳    |
|                |                | 医療体制の強化継続【対策80】<br>・救急医療室新設、複数専門医師常駐体制確立(24時間常駐)、患者搬送の迅速化<br>・熱中症予防対策の徹底☆(新規入所者に対する教育等)、メンタルヘルス対策実施、健康診断の実施<br>・予防医療などを含む産業衛生体制の確立  |                |
|                |                | 要員の計画的育成・配置の実施【対策85】<br>・国と事業者の連携による人材育成等を推進  | 被ばく線量管理の徹底 目標㉑ |

凡例      ■:実施開始済(必要に応じ国が監視)      ☆:国の安全確認(報告徴収)      ■:現場工事中      ■:現場着手      ■:現場未着手